

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

<WANOレビューの実施>

当社は、世界の原子力事業者の知見を活用し、更なる安全性の向上に取り組んでいくために、2019年4月にWANO※に加盟しました。

今般、当社は、2021年4月12日から20日まで、使用済燃料受入れ・貯蔵施設を対象として、WANOの専門家からなる国際チームによるレビューを受けました。WANOレビューでは、再処理工場の安全性や信頼性をより向上させることを目的に、現場作業の観察や役員・社員へのインタビューなどを通じて、世界の最高水準と比較して更に改善できるところがないかという観点でWANOと議論し、様々な指摘をいただきました。

※WANO(世界原子力発電事業者協会)：

世界中の原子力発電所や原子燃料サイクル施設の安全性と信頼性を最大限に向上させることを使命とし、レビュー活動、故障・トラブル事象の情報交換など事業者に対する支援活動を行っている。

【レビュー概要】

- ◆レビュー実施者：WANO東京センターの原子力専門家9名（英国、日本）
- ◆レビュー分野：運転や保守、火災防護対策など、施設の運営に関する活動
- ◆レビュー結果(概要)：使用済燃料受入れ・貯蔵施設のレビューにおいて多くの建設的なコメントを受けた。
 〈良好事例〉実火災を模擬した消防訓練の実施、協力会社と一体となった労働安全向上のための取り組み
 〈要検討事項〉巡視点検の感度強化、リスクを考慮した工事管理の徹底、防火設備の維持管理の徹底



社長へのインタビューの様子



社員へのインタビューの様子



実火災を模擬した消防訓練の様子



使用済燃料受入れ・貯蔵施設での現場観察の様子

当社の再処理工場は、過去に使用済燃料を用いて試運転を実施し、現在は放射性物質を管理しながら建設を行い、しゅん工・操業に向けて現場環境や組織が変わりつつあるという特徴があります。このような特徴を持った当社にとって、今回のレビューで挙げられた要検討事項は再処理工場のしゅん工までに改善すべきものであり、早急に取り組んでまいります。

地域の皆さまにご安心いただけるよう再処理工場の更なる安全性向上に努めてまいります。